

ライブビューリモコン

スタートガイド

本書では、ライブビューリモコンRM-LVR3の基本操作を説明しています。

ご使用になる前に、本書で説明している
カメラとのWi-Fi接続設定が必要です。

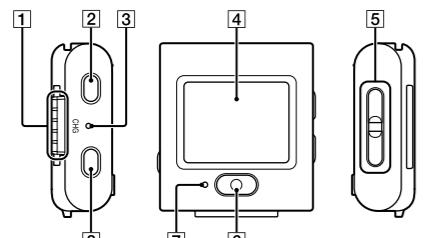
詳しい使いかたは、ヘルプガイド(Web取扱説明書)をご覧ください。
<http://rd1.sony.net/help/cam/1650/ja/>



警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります
本書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。本書およびヘルプガイド(Web取扱説明書)をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

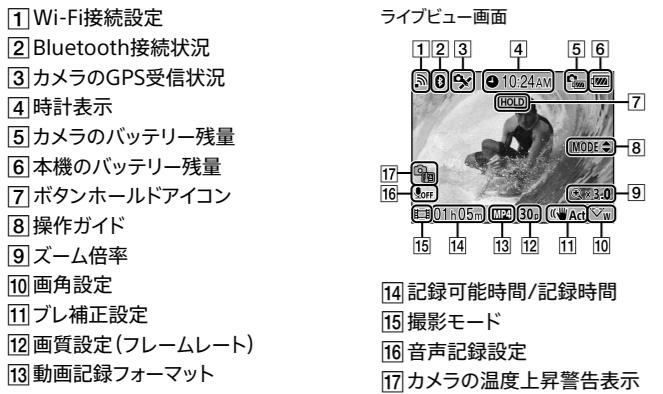
RM-LVR3

各部の名前



• 本機をリセットするには、MENUボタン、REC/ENTERボタン、DOWNボタンを同時に押してください。

画面表示

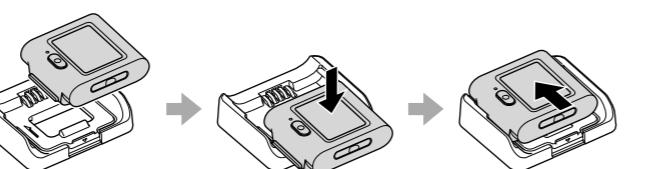


ご注意
• 接続するカメラによって表示が異なります。

充電する

1 本機の電源がOFFになっていることを確認する。

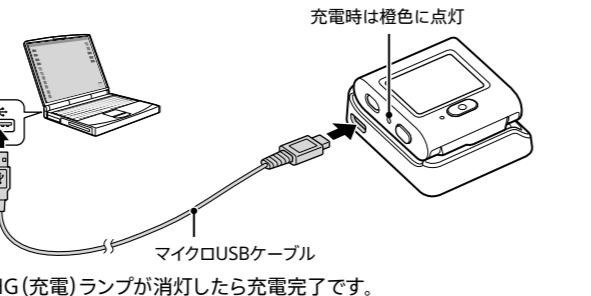
2 本機をクレードル(付属)に取り付ける。



ご注意

- 本機の端子部が濡れてしまったり汚れていたりする場合は、水分を拭き取り、汚れを取り除いてから取り付けてください。

3 クレードルと、起動しているパソコンをマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。



ご注意

- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した分はお使いいただけます。
- 電源がONになっているときは給電となり、充電されません。
- 満充電の場合には、すぐにCHG(充電)ランプが消灯します。

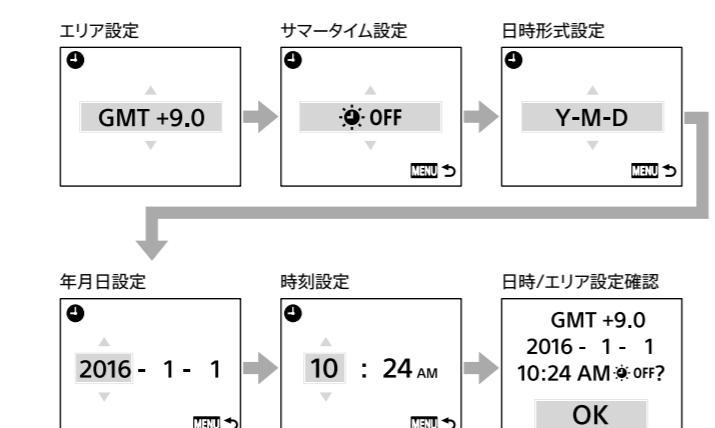
日時/エリアを設定する

1 ⏴(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。

初めて電源を入れたときは、日時/エリア設定画面が表示されます。

2 日時とエリアを設定する。

UP/DOWNボタンを押して設定値を選び、REC/ENTERボタンを押して決定します。画面は以下の順に切り替わります。



日時/エリア設定確認画面でREC/ENTERボタンを押すと設定値が確定し、Wi-Fi待ち受け画面が表示されます。

ヒント

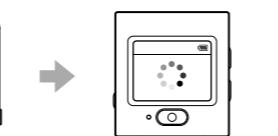
- エリアはグリニッジ標準時(GMT)とお住まいの地域の時差で決定します。時差については、ヘルプガイド(Web取扱説明書)の「世界の主要都市の時差一覧」をご覧ください。日本の場合、+9.0です。
- 再度、日時を設定する場合は、本機のMENUボタンを押して①(リモコン本体設定)から②(日時設定) / ③GMT(エリア設定) / ④OFF(サマータイム設定)を選択してください。

カメラと接続する

ここでは、1台のカメラと接続する方法を説明しています。複数のカメラと接続する方法については、ヘルプガイド(Web取扱説明書)をご確認ください。カメラの操作方法については、カメラの取扱説明書をご確認ください。

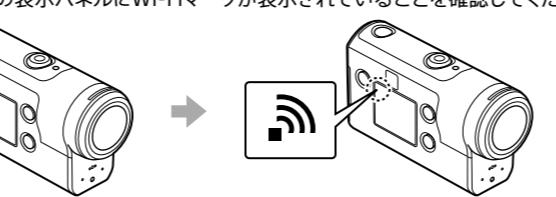
1 本機の電源を入れる。

本機を起動するとWi-Fi待ち受け画面が表示されます。

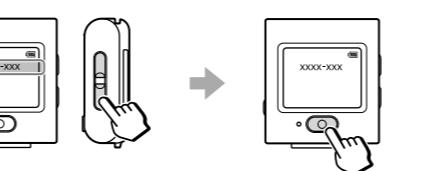


2 カメラの電源を入れ、設定を確認する。

カメラの表示パネルにWi-Fiマークが表示されていることを確認してください。

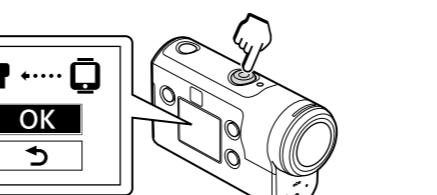


3 接続するカメラの機種名を選び、REC/ENTERボタンを押す。



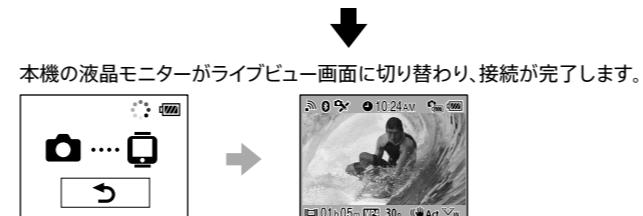
4 カメラに本機を登録する。

カメラの表示パネルに①②③が表示されたら[OK]を選び、カメラのREC/ENTERボタンを押してください。



ご注意

- カメラの表示パネルに①②③が表示されない場合は、カメラの電源を入れ直し、再度、手順2からお試しください。

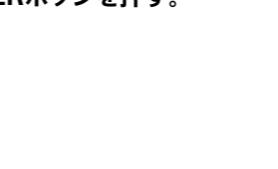


ご注意

- 接続が完了しない場合は、電波の混雑などが考えられます。場所を変えてから、再度接続をやり直してください。

撮影モードを切り替える

1 MENUボタンを押して MODE(撮影モード)を選び、REC/ENTERボタンを押す。



2

UP/DOWNボタンを押してお好みの撮影モードを選び、REC/ENTERボタンを押す。

画面左下に撮影モードアイコンが表示されます。



撮影する

動画撮影時

以下の撮影方法については、ヘルプガイド(Web取扱説明書)、またはカメラの取扱説明書をご確認ください。

- 静止画
- タイムラプス撮影
- ループ録画

1 REC/ENTERボタンを押して、撮影を開始する。

REC/Wi-Fiランプが青の点灯から赤の点灯に変わります。

2 撮影を停止するときは、もう一度REC/ENTERボタンを押す。

REC/Wi-Fiランプが赤の点灯から青の点灯に変わります。

カメラの設定をする

1 MENUボタンを押して①(撮影設定)を選び、REC/ENTERボタンを押す。

2 UP/DOWNボタンを押して設定項目を選び、REC/ENTERボタンを押す。

アイコン	設定項目
1080 30p HQ	画質設定
[MP4]	動画記録フォーマット
⌚ OFF	タイムラプス撮影サイズ
⌚ 5 min	ループ録画時間
⌚ 10f 1s	静止画モード切替
⌚ 1s	静止画撮影間隔
⌚ OFF	セルフタイマー
⌚ 300	タイムラプス撮影枚数
⌚ Act	ブレ補正(動画)
⌚ ON	ブレ補正(静止画)
⌚ W	画角設定
⌚ OFF	ズーム設定
⌚ OFF	上下反転
⌚ ±0.0	AEシフト
⌚ AE-T	タイムラプスAEモード
SCN [N]	シーン
AWB	ホワイトバランス
Vivid	カラーモード
ON	音声記録設定
OFF	風音低減

各項目の詳しい設定内容については、ヘルプガイド(Web取扱説明書)でご確認ください。

<http://rd1.sony.net/help/cam/1650/ja/>

ご注意

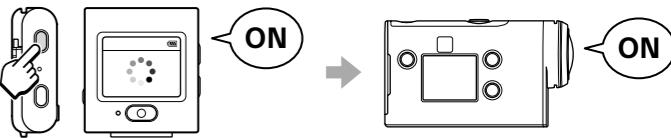
- 接続するカメラの撮影モードによっては、対応していない項目、設定値があります。

本機を設定する

カメラの電源ON/OFF

対応するカメラの電源と連動して操作することが可能です。

本機の電源をON/OFFすることで、カメラの電源もON/OFFすることができます。連動させない場合は、カメラ側のMENUボタンを押し、UP/DOWNボタンで①(カメラ本体設定) → ②(Bluetoothリモコン電源設定) → ③OFFの順に選び、設定をOFFにしてください。



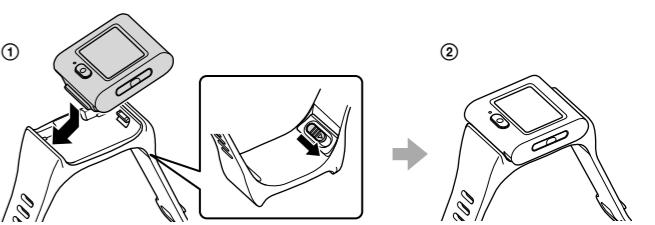
撮影中モニター自動消灯

バッテリーの消耗を抑えるため、撮影中に自動で液晶モニターが消灯します。消灯させない場合は、本機のMENUボタンを押し、UP/DOWNボタンで①(リモコン本体設定) → ②(撮影中モニター自動消灯) → ③OFFの順に選び、設定をOFFにしてください。

取り付ける

本機をベルトに取り付ける

- ① ベルト裏のリリースレバーを引いた状態で、本機の突起をベルトの溝に合わせる。
- ② ベルトに本機がはめ込まれていることを確認して、リリースレバーから指を放す。・リリースレバーが戻り、本機がベルトに取り付けられます。



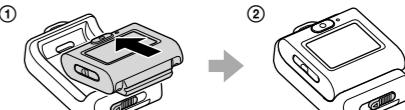
ベルトを腕に取り付ける際には

ベルト穴を通し①で固定した後、②で移動させ、確実にベルトを固定してください。



本機をマウントアダプターに取り付ける

- ① リリースレバーを引いた状態で、本機の突起をマウントアダプターの溝に合わせる。
- ② マウントアダプターに本機がはめ込まれていることを確認して、リリースレバーから指を放す。・リリースレバーが戻り、本機がマウントアダプターに取り付けられます。



エラーコード

カメラの主なエラー内容と対応を説明します。

エラーコード	考えられる原因	対応
03-01	電波が混雑しています。 環境を変えて再度接続手順をお試しください。 接続手順のカメラ操作が誤っています。	
05-02	メモリーカードを誤った向きで入れたまま録画しています。 カメラにメモリーカードが入っていないか確認してください。 メモリーカードに空き容量があります。 メモリーカードを空き容量があるものに交換してください。	

その他のエラーコードの内容については、ヘルプガイド(Web取扱説明書)でご確認ください。

<http://rd1.sony.net/help/cam/1650/ja/>



警告 安全のために

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。



「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、ケーブルのマイクロUSB端子にほこりがたまっているか、ケーブル類に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

本機の動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

- 電源を切る
- ② マイクロUSBケーブルを抜く
- ③ 相談窓口に連絡する

△危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

本書や製品では、次のような表示をしています。

△危険 この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

△警告 この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

△注意 この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



電池について

「安全のために」の文中の「電池」とは、バッテリーパックも含みます。

警告



下記の注意事項を守らないと、火災、大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすいものなど）を入れない
火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切ってください。USB接続している場合は、マイクロUSBケーブルを抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に操作しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、本機の操作は絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう
周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の方法で充電しない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品は乳幼児の手の届く場所に置かない
付属品などを飲み込む恐れがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がわらわらようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

本体およびケーブルの端子部分を金属等でショートしない 火災や感電、破損の原因になります。



ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。



△注意



下記の注意事項を守らないと、けがや財産に損害を与えることがあります。

油煙のあるところでは使わない 火災の原因になることがあります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。



コード類は正しく配置する

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



長時間使用しない

体温のすぐれない方や、皮膚が弱い方、血行障害の方などは、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合がありますので、長時間のご使用はお控えください。



使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。



ワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を不要ない特定的小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。



1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。



3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口へお問い合わせください。ソニーの相談窓口については、本書の「保証書とアフターサービス」をご覧ください。



2.4:2400 MHz帯を利用する無線設備を表します。

DS/OF/XX:変調方式が DS-SS/OFDM/その他の方式、あることを示します。



4:想定される干渉距離が40 m以下であることを示します。



8:想定される干渉距離が80 m以下であることを示します。



—:2400 MHz～2483.5 MHzの全体域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを示します。

無線機能に関するご注意

紛失や盗難などによってカメラに搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

・本機の無線機能は日本での利用を前提としています。海外での使用はその国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社では一切の責任を負いかねます。

ACアダプター(別売)について

ACアダプター(別売)はお手近なコンセントをお使いください。
本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電気を遮断してください。
充電が完了してCHG(充電)ランプが消えても電源からは遮断されません。

機銘板について

機銘板は本体裏面にあります。
確認が必要な際は、ベルトを外してご覧ください。

使用上のご注意

【本機について】

取り付けについて

ベルトやマウントアダプターに取り付けるときは、確実に取り付けてください。落下によるけがや破損の可能性があります。

使用/保管してはいけない場所

- ・異常に高温になる場所
炎天下や夏場の窓の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- ・直射日光の当たる場所、熱器具の近くでの保管
変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- ・激しい振動のある場所
- ・強力な磁場のある場所
- ・砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、本機に砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

Wi-Fi/Bluetooth機能について

- ・ご使用になる場所の規則に従ってお使いください。
- ・水中ではWi-Fi/Bluetooth機能はお使いいただけません。

Wi-Fi/Bluetooth機能を一時的に無効にするには

飛行機などに搭乗するとき、一時に無線に関連する機能をすべて無効することができます。
飛行機モードをONに設定すると、本機の液晶モニターに「+」が表示されます。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

- ・ハッキングや悪意ある第三者からのアクセス、その他の脆弱性を回避するため、常にセキュアなワイヤレスLANを使用していることを確認してください。
- ・ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。
- ・セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの使用上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなったらご使用ください。

動作温度にご注意ください

- ・本機の動作温度は約-10 ℃～ +40 ℃です。動作温度範囲を超える極端に寒い場所や暑い場所でのご使用はおすすめできません。
- ・本機を使用中に液晶モニターやキャビネットがあたたかくなることがあります、故障ではありません。

液晶モニターについて

- ・液晶モニターを太陽に向けたままにすると、液晶モニターを傷めてしまいます。窓際や室外に置くなどはご注意ください。
- ・寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、液晶モニターが暗く見えたりすることがあります。故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。

防水性能について

本機は防水性能を備えていますが、誤った使いかたによる故障は保証の対象外になります。

- ・高い水圧があることがあるため、水道などからの勢いのある水を、直接あてないでください。
- ・温泉で使用しないでください。
- ・0°Cから40°Cの水温でご使用ください。

水中・水辺で使用する前のご注意

- ・本機の端子(ケーブルに接続する端子)にゴミや砂がついているときは、繊維の残らない柔らかい布等で拭き取ってください。
- ・水辺での使用後や、手に水や砂がついているときは、ケーブルでの充電前に、必ず「水中・水辺で使用した後の手入れ」を行ってください。

水中・水辺で使用中のご注意

- ・水中に飛び込むなど、本機に衝撃を与えないでください。
- ・本機は水中で沈みます。水没防止の為にヘルトをご使用ください。
- ・水につけた際、泡が出ることがありますが、故障ではありません。

水中・水辺で使用した後の手入れ

- ・使用後は60分以内で必ず洗いしてください。見えないところに水や砂が入りこんでいることがあり、塩、砂等を付着したままにしておくと防水性能が劣化します。
- ・容器にためた真水に5分程度まで置